

# 公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 助教 1名
2. 所属 システム科学技術学部 機械工学科 材料構造工学講座
3. 専門分野 金属・プラスチック・セラミックスなどの機械材料の強度、構造解析・非破壊検査技術、リサイクルのいずれかに関連する専門知識を有し、着任後に複合材料を用いた輸送機械の軽量化や風力発電用風車ブレードのメンテナンス、複合材料のリサイクルに関する教育、研究、地域貢献に意欲を持って取り組める方を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) 主に物理学実験、機械工学実習、機械工学実験の各1課題を分担、機械工学演習、機械工学プロジェクト、セミナー、卒業論文指導等の補助を担当  
(大学院) 大学院講義、セミナー、修士論文・博士論文に関する研究補助
5. 応募資格 (1)博士の学位を有すること、または採用日までに取得見込みであること  
(2)大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められること  
(3)当該分野の教育と研究に熱意を持ち、地域貢献にも意欲をもっていること  
(4)国籍は問わないが、日本語で講義ができること  
(5)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 令和5年10月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員  
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制(本学給与規程による)  
(3)勤務 裁量労働制  
(4)任期 5年の任期制(再任回数に制限なし)  
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書(本学所定の様式1\*による)  
(2)研究業績書(本学所定の様式2\*による) 学術論文は、①学術論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの3編に○をつけてください。当該分野に関する顕著な実績を有する場合は研究業績書における「6 その他」にその内容を具体的に記載してください。  
(3)主要論文3編(コピー可)  
(4)これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む)の概要(1000字程度)  
(5)教育に対する抱負(1000字程度)  
(6)研究・地域貢献に対する抱負(1000字程度)  
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先  
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧  
注) \*印:履歴書(様式1)及び研究業績書(様式2)については、ホームページ(<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>)をご参照ください。
9. 応募締め切り 令和5年4月28日(金) 必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接(模擬授業を含む)  
(2)第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接  
※第一次選考の学部選考委員会による面接はオンラインで実施する場合があります。  
※面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先  
(1)提出先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4  
秋田県立大学システム科学技術学部本荘キャンパス 教員選考委員長 水野 衛  
※封筒の表に「機械工学科材料構造工学講座教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。応募書類は返却しません。  
(2)問い合わせ先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4  
秋田県立大学システム科学技術学部 機械工学科長 鶴田 俊  
TEL: 0184-27-2102(ダイヤルイン)、E-mail: [ttsuruda@akita-pu.ac.jp](mailto:ttsuruda@akita-pu.ac.jp)
12. その他 本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画:

[https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317\\_koudou02.pdf](https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317_koudou02.pdf))

## 今回の公募で求める人物像

機械工学科材料構造工学講座では、本学着任後に輸送機械の軽量化や風力発電用風車ブレードのメンテナンスを目的とした、軽量で高強度、低価格で高品質、リサイクル可能で環境に優しい複合材料やその加工法を開発し、その強度と信頼性を保証するための専門知識を修得して、これらの専門領域に関する教育、研究、地域貢献に意欲をもって取り組める人材を求めます。

## [教育]

機械工学の基礎である4つの力学を修め、機械工学の学問体系を十分理解した上で実験、実習、演習において課題を指導できる活力あふれる教員を学科として必要としています。これらの専門知識や技術の定着を図るための実験・実習・演習科目において学生に近い目線で考え、教員としての立ち位置で指導できる助教を求めます。

## [研究]

これまでの材料構造工学講座の取り組みを財産とし、これからの秋田に必要な研究課題、地域貢献にシフトし、さらに、研究グループ間で連携することによるシナジー効果を最大限活用し、今後も産官学で連携した大型プロジェクトに安定的に参画し成果を残していくために、(1) 長繊維を強化材とした繊維強化複合材料の製造・加工技術、(2) 長繊維強化複合材料の構造解析あるいは非破壊検査技術、(3) 将来大量に廃棄されることになる複合材料をリサイクルし資源保護に貢献できる技術を研究できる人材を求めます。

なお、現在の専門分野は異なっても、本学着任後に上記研究に取り組み、未来の技術を新規に研究開発し、将来的に第一線で活躍できる意欲的な研究者を求めます。

## [地域貢献]

少子高齢化の進む秋田県では、若者が安心して暮らし働くための産業の創出が必要であり、内閣府交付金を利用した電動化事業や複合材の成形に関する技術研究組合などの大型プロジェクトが産官学の連携をしながら進められています。輸送機械の軽量化を目的とした秋田複合材新成形法技術研究組合の受託研究や秋田の風資源を活用するための洋上風力発電設備のメンテナンスに必要な技術など、地域に求められる研究開発、地域貢献に本学着任後に積極的に取り組める人材を求めます。

## [その他]

当該研究分野に関する専門性のみならず、企業、他大学、自治体など多様な組織と連携しながら研究プロジェクトを推進できるコミュニケーション能力と自己管理能力を重視します。また、同僚とも協調し、学部や学科の運営に携われる人材を求めます。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

## 令和5年度 機械工学科大講座グループ構成

基本方針:機械工学科は3大講座制とし、地球資源・エネルギーの有効利用による、人と環境に優しい高度機械システムに関する教育と研究を推進する。

### 材料構造工学講座

#### ●応用材料力学研究グループ

機械部品から細胞培養基質までの幅広い材料の開発、成形加工とその強度や諸特性の解析と評価方法を研究しています。また、研究成果の社会的還元を目指して、応用分野についても研究と開発を進めています。

#### ●先端材料研究グループ

複合材料、機能性セラミックス、アモルファス金属、準安定結晶などの先端材料を主な対象とし、より優れた機能を有する材料を創製し、その特性を調べ、有効に利用するための方法を研究・開発しています。

### 熱・流体工学講座

#### ●熱科学研究グループ

熱科学を基礎として、社会から要望される「環境」「エネルギー」「安全」の調和した技術開発に貢献することを研究の目的としています。また、地域の技術開発を支援する目的で熱計測技術の研究も行っています。

#### ●流体科学フロンティア研究グループ

現在の流体科学の研究は、従来の機械工学的な研究に留まらず、流体問題が関連するいろいろな分野との境界領域で、活発に行われています。本研究グループでは、学問的に高いレベルで研究を推進することを目指しています。

### 設計生産工学講座

#### ●応用機械設計研究グループ

地球規模で急速に進む環境問題を踏まえ、各種力学、材料学、加工学、制御工学、電磁気学など多岐にわたる分野の総合である機械設計をベースに、人間の生活・環境・産業に寄与する機械システムの研究開発に取り組んでいます。

#### ●先端加工研究グループ

製造技術の根幹をなす機械要素や光電デバイスの精密・微細加工製作方法に関する研究を行います。超音波や磁場を援用した精密加工技術の高度化開発や、微小径工具を用いた高精度・高能率加工を行っています。